

大阪湾漁場環境速報

平成20年 8月 7日発行
兵庫のり研究所

今回調査は湾北部のみで、その他の調査点は欠測しました。
(水温) 表層は湾内25~29 台で、平均**26.9**。平年(過去10年平均26.2)比0.7、昨年(24.2)比2.7 それぞれ高い。-10m層は平均**24.8**で、ほぼ平年(24.7)並。表層塩分の低い調査点で強い成層が観測された。
(塩分) 表層平均**30.19**psu(平年 30.96)。-10m層平均**32.27**psu(平年 32.02)。
(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均**3.3** $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均**0.29** $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素・リンとも、ほぼ平年(3.6, 0.32)並の値を示している。-10m層(平均)は、窒素**6.2** $\mu\text{g-at/L}$ 、リン**0.49** $\mu\text{g-at/L}$ 。神戸市沿岸~湾奥部で、シュードニッチア・レプトシリンドラス・キートセロスなどの小型珪藻が大量発生しており、特に神戸空港東~湾奥部で、これらによる赤潮のため海水が褐色に変色してした。塩分濃度が高い調査点や-10m層では、大型珪藻コシノディスカスが認められた(最高:海水1Lあたり130細胞)。また、渦鞭毛藻など珪藻以外のプランクトンは少ない状況。透明度は1.0~8.0mで、平均5.1m。pHは表層平均**8.30**。

上段(今回値)	平成20年8月6日調査
中段(昨年値)	平成19年8月7日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素($\mu\text{g-at/L}$)	磷酸($\mu\text{g-at/L}$)
04				
	25.9	32.42	2.4	0.20
	25.1	32.37	5.6	0.47
05	23.8	32.10	4.2	0.43
	25.3	32.11	3.7	0.34
	27.4	30.01	2.4	0.20
06	23.3	32.12	4.8	0.47
	25.2	31.84	3.6	0.30
07	24.7	32.09	1.5	0.25
	26.1	32.07	2.0	0.26
08	24.7	32.03	0.8	0.19
	26.5	32.03	2.0	0.22
09				
	26.2	32.13	2.2	0.27
010	24.4	32.11	0.7	0.14
	26.9	31.68	1.3	0.19
012	26.7	30.48	0.6	0.17
	28.1	30.69	1.1	0.14
013				
	28.4	29.78	3.9	0.23
	28.5	27.46	1.6	0.13
016	25.2	30.75	1.0	0.35
	27.2	28.76	6.1	0.46
017				
	28.4	27.00	19.8	0.58
018	29.0	24.28	1.5	0.66
	28.2	21.37	42.2	0.55
	28.3	21.92	33.1	1.30
S1	26.8	30.74	2.8	0.26
	24.0	31.80	2.0	0.21
	26.2	31.05	3.1	0.27
S2	28.2	28.33	2.1	0.11
	24.4	31.20	1.5	0.28
	26.8	30.59	3.3	0.32
S3	25.5	32.20	5.4	0.46
	24.9	32.25	3.2	0.33
	26.6	31.43	2.1	0.23
S4				
	25.9	32.39	1.9	0.19



